

体調が悪い日はやめる

単独行動をしない

子どもから目を離さない

飲酒後は入らない

ライフジャケット着用

連絡手段を確保

立入禁止に近づかない

命を守る7つの約束

釣り
ライフジャケット着用

サーフィン
技量や体力を過信しない

プレジャーボートなど
事前点検・周囲に注意

他にも注意！水遊び事故対策

海や川での釣りは不注意で足を滑らせ怪我をしたり、水中に転落することがあります。ライフジャケットの着用や履物に注意しましょう。

サーフボードや人に衝突して負傷する事故や、沖に出過ぎたり、波を待つ間に流され岸に戻れなくなったりする事故に注意です。

故障による「運航不能」に注意です。また、衝突による死傷者も多いです。早めに危険を察知して衝突回避するよう、見張りを徹底しましょう。

好きだからこそ、知っておきたいこと。あなたのレジャーに合った注意点を確認しましょう。

水遊びの比較ガイド	海	川	プール
潜む危険	離岸流	急な増水 急に深くなる場所	歓声にまぎれる溺水
対策	岸と平行に泳ぐ、または流れに逆らわず呼吸を整え助けを呼ぶ	上流の天気を確認する 深さを確認しながら進む	こまめに人数確認 監視員の指示に従う
NG	遊泳禁止区域で遊ぶ	中州で長居	飛び込み、走る、押す

楽しい夏のその前に

～夏のレジャー前に知っておきたい水の事故対策～

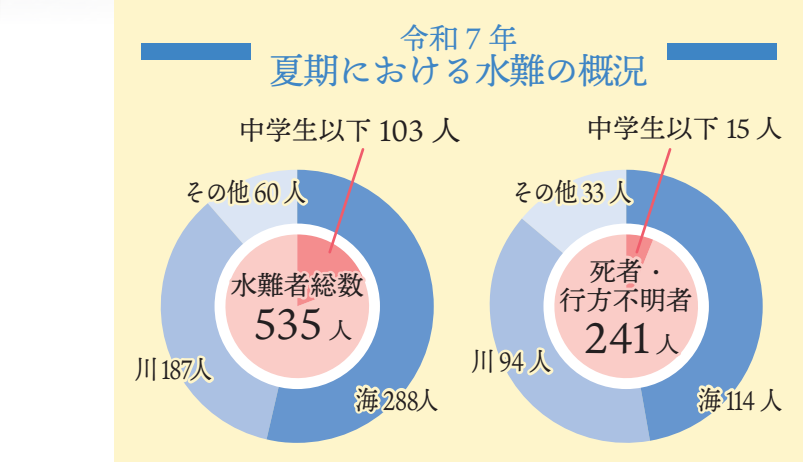
水難事故 **0** のために
覚えておこう **7** つの約束

夏 は、家族や友人と海や川へ出かけ、忘れられない思い出を作ることができる特別な季節です。しかし、その楽しいひとときの裏側で、毎年全国各地で多くの人が「水の事故」によって命を落としていることをご存知ですか。一見おだやかに見える水面の下には、私たちの想像を超える危険が潜んでいます。離岸流、急な増水、足をすくう波―。それらは、年齢や経験を問わず、ある日突然、平穏な日常を奪っていきます。

「自分は大丈夫」―その小さな油断が、取り返しのつかない事態を招くのです。この特集では、水の事故から大切な人を守るために、今日から実践できる対策を分かりやすくまとめました。この夏を、家族みんなの笑顔で締めくくるために。ぜひ、水辺へお出かけになる前に、ご家族そろってお読みください。

■川の事故、その5割超が犠牲に

警察庁による「令和7年夏期における」



「水難の概況」では、河川での死者・行方不明者が前年に比べて増加しました。川や池の様子は、上流の天気などによって大きく変化します。足元がたいへん滑りやすく、とても危険です。安全だと思われる場所であっても急に増水することがあるので細心の注意をしてください。特に中州では、いつの間にか水かさが増し、気がつけば岸辺に戻れなくなることがあります。このような場所で遊ぶことは避けましょう。

未来へ紡ぐ 平和祈念 パネル展

8月1日(土)～16日(日)
図書館開館時間中
荻田町立図書館

「非核平和都市宣言」をしている本町は、恒久平和への願いを次世代へとつなぐ「平和祈念パネル展」を開催します。会場では、貴重な戦時資料や関連図書の展示に加え、平和への想いを込めた折り鶴アートなど、心に響く多彩な展示コーナーをご用意しています。この機会にぜひ平和の尊さについて感じてみませんか？

■ 今年のパネル展



● 問い合わせ／生涯学習課
☎ 093・434・2044

心に刻む、平和のバトン

長崎の被爆地から約900m。原爆の熱線に耐え抜いた「被爆柿の木」があります。この親木から生命のバトンを受け継いだ「被爆柿の木二世」が平成12年に荻田小学校へ植樹されました。さらに、そこから芽吹いた「被爆柿の木三世」が平成19年に馬場小学校へと移植され、今も子どもたちへ命の尊さを伝えています。また、令和8年3月には、北九州空港に「嘉代子桜」が植えられました。長崎で被爆した林嘉代子さんが次の世代へとつないでいきます。

この地に息づく3本の「平和の木」



■ 荻田小学校 (被爆柿の木二世)

昭和20年、長崎で被爆し幹の半分が焼け焦げながらも生き抜いた命のシンボルの柿の木。その強い生命力や平和への願いを伝えるため、平成12年に苗木を譲り受け植樹されました。



■ 馬場小学校 (被爆柿の木三世)

荻田小学校の被爆柿の木二世が実を結び、その種から育った木が平成19年に馬場小学校へ植樹されました。長崎から荻田小、そして馬場小へと「命のリレー」がつながっています。



■ 北九州空港 (嘉代子桜)

令和8年3月、開港20周年と荻田ロータリークラブ創立50周年を記念し植樹。長崎で被爆した林嘉代子さん(当時15歳)の母親が娘を悼み、母親が寄贈した桜を接ぎ木で育てたソメイヨシノです。

Q 少のお酒なり泳いでもOK？

A × お酒が体内に入ると、判断力や運動能力も低下し、大変危険です。飲酒をして海水浴中に事故に遭った人の死亡率は、飲酒をしていない人の約2倍も高くなっています。

Q 流されたら全力で岸へ？

A × まず「浮いて待つ」が鉄則です。落ち着いて呼吸を整え、助けを呼びます。特に海で離岸流に巻き込まれた場合、体力があれば海岸と平行に泳いで抜けられますが、自信がないときは、浮いて救助を待つことが安全です。

Q ライフジャケットを着けていれば子どもから目を離してもいい？

A × 子どもは大人と比べて危険を察知する力が弱いものです。ライフジャケットと大人の見守りで初めて安全となります。

めざせ！全問正解 〇×クイズ

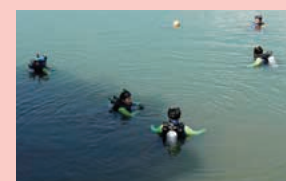
確かな知識が命を守る。
正しく知って水遊びを楽しもう。

「浮いて待つ」とは？
バタバタせず
力を抜いて仰向けに
口と鼻を水面に出し、
慌てず呼吸を整えて
救助を待ちましょう



消防本部は潜水訓練を実施しました

7月8日、荻田町消防本部は、水難事故に備えた潜水訓練を実施しました。迅速な救助を目指し真剣に訓練に挑む隊員たちの様子を、公式Instagramで公開中！夏のお出かけ前にぜひご覧ください。水辺の安全意識を高めて楽しいシーズンを過ごしましょう。



覚えておいて！もしものときは
海での事故・救助(GPSをONにして電話)

警察
110

救急
119

海での事故
118

荻田町から メッセージ

水辺は、楽しさと危険が隣り合わせの場所。正しい知識と備えがあれば、その楽しさを何倍にもできます。どこで過ごす夏も、笑顔で「ただいま」と言える夏にしましょう。

